

理研計器がメンテ車両

ガス検知器 被災地で点検

理研計器は災害発生時などに現地赶赴してガス検知器などを点検できるメンテナン車両を製作した。検知器の修理対応や物資の運搬を行え、より迅速なインフラ復旧支援を実現する。従来は被災地から製品を輸送して点検・修理し、再び被災



地に運ぶ必要があり、ガス検知の時機を逸する場合もあった。現在は1台のみだが、将来は2台体制で東日本と

西日本を網羅する計画。

移動式のメンテナンス車両は「REM1（レム・ワン、写真）」。「トヨタ自動車の「ハイエース」をベースに、快適に働けるよう車内の作業環境に配慮した。

エアコンとファンヒーターを導入したほか、脱着式のリアシートやテーブルなども完備する。

リチウムイオン二次電池を搭載しており、エアコンの場合、5時間程度はエンジンを切った状態で動かせると

いう。屋根に太陽光発電パネルも敷き、環境負荷抑制に寄与する。

平時も展示会場に設けたり、サービス拠点として用いたりするなど営業支援に活用する。現場で点検作業場所の確保が不要なため、日常的な保守点検の効率化につながる。